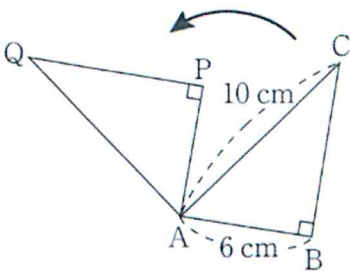
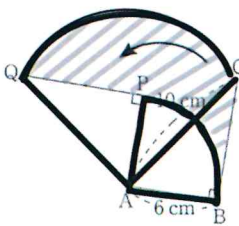


【中学入試 算数 における式や考え方の配点について】

目的:正答を導けるだけでなく、解く過程を他者に説明できる力を測るため。

- 「式や考え方」と「答え」のそれぞれに配点があります。
- 「答え」のみでは満点になりません。「答え」が間違っているでも、「式や考え方」が正しければ得点になります。

<p>(2)周りの長さが 1.2km の池があります。A 君は分速 80m, B 君は分速 50m で同じ場所から同じ方向へ池の周りを歩きます。2 人が同時に歩き始めてから 3 回目に A 君が B 君に追いついたとき, A 君は出発してから池を何周しましたか。 [2019 年第 2 回]2]</p>	<p>[解答例]</p> <p>3回目に A 君が B 君に追いつくまでの時間は</p> $1200 \div (80 - 50) \times 3 = 120 \text{ (分)}$ <p>A 君が出発してから歩いた距離の合計は</p> $80 \times 120 = 9600 \text{ (m)}$ <p>だから, $9600 \div 1200 = \underline{8}$ (周)</p> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>9600 ÷ 1200 = 6 のように, 計算を間違えた場合でも, 「式や考え方」は満点です。</p> </div>
<p>(4)右の図の三角形 APQ は, 三角形 ABC を点 A を中心に 90° 回したものです。辺 BC が通った部分の面積を求めなさい。 [2019 年第 2 回]2]</p> 	<p>[解答例1]</p> <p>(おうぎ形 ACQ + △ABC) - (おうぎ形 ABP + △APQ)</p> <p>が求める面積で, △ABC と △APQ の面積は等しいから,</p> <p>(おうぎ形 ACQ) - (おうぎ形 ABP)</p> $= 10 \times 10 \times 3.14 \div 4 - 6 \times 6 \times 3.14 \div 4$ $= 78.5 - 28.26 = \underline{50.24 \text{ cm}^2}$ <p>[解答例2]</p>  <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>式だけでなく, 図や表を使って考え方を説明するのも OK です。</p> </div> <p>求めるのは影のついた部分だから,</p> <p>おうぎ形 AQC からおうぎ形 ABP を引く。</p> $78.5 - 28.26 = \underline{50.24 \text{ cm}^2}$